

参加者感想

参加期間 2012年 2月 3日 ~ 3月 5日

参加されたプログラム名 オーストラリア日本語教師ボランティア

参加の動機 大学生最後の長期休みを有意義なものにしたかった。日本語を海外でどのように教育しているのか、興味があった。

【印象に残ったこと・感動したこと】

オーストラリアの子供たちは、皆学ぶことに対して積極的であった。日本の学校では、質問が飛び交うようなことはあまり見られない。オーストラリアの教室では、先生が発言すれば生徒が発言し、とてもにぎやかであった。生徒の勉強に対するモチベーションは、とても高いように感じた。また、先生とのコミュニケーションが多いことによって、そのモチベーションも高まるのではないかと思った。オーストラリアの人々の生活スタイルは、とても温かくのんびりしていた。今までにホームステイを3度ほど経験したが、今回のホームステイが一番良かった。ホストマザーやホストファザーは、自分を我が子のように可愛がってくれた。最高のステイが出来た。



【大変だったこと】 大変だったことは特にありませんが、強いて言えば水を節約しなければならなかったこと。

【楽しかったこと】 毎日が楽しかった。子供たちと日本語の勉強をしたり、休み時間におしゃべりをしたりする時間はとても楽しかった。また、ホストファミリーと毎晩一緒にご飯を食べて、たくさんお話をした。週末にシドニーに旅行へ行ったのも楽しかった。

【持ち物について】 持って行って良かった物、or 持っていけば良かった物など

お好み焼きの粉とソースを持って行った。ホストファミリーに作ったら、とても喜んでくれたので持って行って良かったと思う。みそ汁も、たまに飲むとほっとするので良いと思う。

【現地での服装について】 普段の服装や、活動先での服装のアドバイスなど

活動先での服装は、ズボンはスーツかチノパン。上は半袖のブラウスや少しオシャレな半袖。活動先以外では、ショートパンツとTシャツ。

【現地の物価】 食品・日用品・外食・交通費etc・旅行に行かれた方はその費用など

ブルーマウンテンに一泊した際は、旅費に20ドル、ホテル30ドル、食費30ドルほど使った。

食べ物の物価は日本と同じくらい。



【コミュニケーション手段(言葉の問題など)について】

英語。オーストラリア英語なので、アメリカ英語に慣れている人にとっては少し聞き取りづらい。Aの発音が強いので、トマトはアメリカ英語では“トメイト”なのに対して、オーストラリアでは“トマアト”であった。また綴りの違いもあり、アメリカ英語では“mom”なのに対して、“mum”であった。苦労することもあるが、違いを知ることは興味深かった。

【ステイ先の情報・感想】 ホテル or ホームステイ

凄く良かった。ステイ先は今までに200人以上の学生を受け入れた経験もあり、凄く慣れていたし、学生と触れ合うことを楽しんでいた家族であったのでとても楽しかった。ステイメイトも中国人の学生が二人いて、中国のことも色々知れて楽しかった。

【派遣(ボランティア)先について】 どこでどんな活動をしましたか

KEIRA High Schoolで、毎日日本語の授業に参加した。TAのような役割であった。日本語の発音をしたり、折り紙をしたり、プレゼンテーションをしたりした。プレゼンテーションは日本の音楽や文化を紹介した。先生が各クラスで15分ほど時間をくれたので、その中でプレゼンテーションをした。12年生のクラスでは、マンツーマンでの会話の練習や、作文の添削もした。



【その他、自由にご記入ください】 写真大歓迎！！

初めてのオーストラリアはとても楽しい滞在でした。

帰国後もFacebookで生徒達と繋がっています。私が1ヶ月滞在したことで、少しでも日本のことに興味を持ってもらえたと思うと、とても嬉しいです。オーストラリアは、また必ず戻りたい国の一つになりました。

素敵なプログラムをありがとうございました。

該当項目以外を消してください。

女性 (ご参加時年齢)20歳代

ご協力ありがとうございます。今後のプログラムに役立てさせていただきます。

参加者感想

参加期間 2012年 9月 10日 ~ 9月 21日

参加されたプログラム名 オーストラリア幼児教育(語学研修なし)

参加の動機

他国の幼児教育に興味があったため、語学の勉強のため

【印象に残ったこと・感動したこと】

日本に比べて紫外線が7倍も強いのですが、幼稚園では外に出る際に、子供たちに日焼け止めを塗らせるという習慣がありとても驚きました。それから、最後の日、みんなに別れを告げると「じゃあ次はいつ会えるの？」といわれもう会えないことをいうと、みんな本当に寂しいと言ってくれました。たった2週間だったけど、みんなにそう思ってもらえて本当にうれしかったです。

【大変だったこと】

子供はすぐになついてくれるのですが、やはりどどんわがママをいうようになりました。しかし、叱り方がわからず戸惑うことが多くありました。つたない英語なので子供にもなめられたりしましたが、きちんと守らなければいけないルールや、やってはいけないことをしっかり先生のマネをしていうようにしました。子供に嫌われることもありましたが、それでも遊びにきたわけじゃないと割り切って怒るときは怒るようにしました。

【楽しかったこと】

朝幼稚園に来て私を見つけるとみんな飛びついてきます。みんなであまり取り合いになってしまい、けんかになるときもあります。それをなだめるのが朝に日課でしたが、心では本当にうれしい気持ちでいっぱいでした。外では、鬼ごっこやかくれんぼ、日本でいうハンカチ落としのようなゲームをよくしたり、室内ではおままごとをしたり、絵本を読んだり、いろいろな遊びを通じて子供たちと距離を縮めることができ、楽しかったです。

【持ち物について】 持って行って良かった物、or 持っていけば良かった物など

持って行って良かったもの 絵本、半袖Tシャツ、

持っていけばよかったもの 折り紙 ダウンorジャケット

【現地での服装について】 普段の服装や、活動先での服装のアドバイスなど

基本的に半袖の上に長袖のパーカーを着、下は動きやすいパンツでした。昼間はとても暑く、夜はコートを着るほど冷えました。私はそんなに気温さがあると思っていなかったので向こうでいくつか服を買いました。

【現地の物価】 食品・日用品・外食・交通費etc・旅行に行かれた方はその費用など

交通機関はバスを主に使っていました。家から幼稚園まではMybus1の10回回数券、町まで出るには少し遠かったのでmybus3の回数券を買って併用していました。外食はあまりせず、ほとんど毎日家でご飯を食べていました。1週目の週末にブルーマウンテンのツアーに参加しました。\$300で少し高いと思いましたが、ブルーマウンテンだけでなく、世界最古の鍾乳洞や野生カンガルー探し、ストロマトライト見学など貴重な体験をすることができましたし、全て日本語のガイドだったのでとても分かりやすかったです。

【コミュニケーション手段(言葉の問題など)について】

ホストファミリーや幼稚園のスタッフの方は優しくかったので、わからないことあっても聞きやすい環境でした。言葉に詰まっても、汲み取ってくださったり、正しい単語でお子供たちの英語が少し聞き取りにくかったのですが、何度もきいてもわかるまで教えてくれました、常に辞書を持ち歩いてわからないことがあれば覚えておいて、休み時間に調べるようにしていました。

【ステイ先の情報・感想】 ホームステイ

ママがフィリピンの方でパパがオランダ方でした。初めは少し英語が聞き取りづらく何度か聞き返すことがありましたが、すぐに慣れ、毎日ディナーの時間に今日あったことなど話しました。3人の子供がおり、何度かディナーのあとにみんなで映画鑑賞をしたり、ごはんに連れて行ってくれたり本当によくしていただきました。何よりごはんがおいしくて毎日おなか一杯食べ、デザートにアイスクリームやママの焼いたケーキを食べていました。基本的に全て好きに使っていいよ、という感じで、朝も自分で好きなものを作って、夜も好きな時にシャワーに入り、本当に自由に過ごしていました。外にバスケットゴールがあり、よく子供たちと遊んでいました。

【派遣(ボランティア)先について】 どこでどんな活動をしましたか

オーストラリアのシドニーから少し北の方のCastle hill の近くのFiona Child care というところでアシスタントをさせていただきました。朝9時前に幼稚園に行き子供たちが来るのを待ちます。来た子供たちと遊びつつ9時半くらいからmorning teaの準備をします。フルーツやジャムやベジマイトを塗ったトーストをみんなで食べます。食べ終わると外に出てお昼まで遊びます。ランチの時間になるとまた部屋に入り、みんなで食べます。基本的にパスタやライスなどが多かったです。片づけ終わるとお昼寝の時間ですのでみんなを寝かせます。子供たちが寝ている間にスタッフたちはご飯を食べます。起きてきた子供たちと室内で遊びつつ、次はafternoon tea の準備をします。また、フルーツやクラッカーなどを食べ外にでます。日によっては本読みをしたり、歌を歌ったりします。そしてお迎えが来る子供たちを見送るというのが一日の活動内容です。

【やってみたかった事・やり残した事】

もっと日本の文化を紹介したかったです。いくつか紹介はしましたが、慣れるのに時間がかかってしまったのと日本のように1日の中で「何かをする」という決まった時間がないためなかなかタイミングがつかめなかった。もっと、準備をしっかりと初めの方から積極的に日本の遊びを紹介すればよかったと思います。

【その他、自由にご記入ください】 写真大歓迎！！







参加者感想

参加期間 3月 1日 ~ 4月 1日

参加されたプログラム名

オーストラリア 日本語教師ボランティア

参加の動機

普通に留学しても面白くないと思ったから。

小さい子が好きだから。

学校の紹介

小学校準備学級から高校3年生までの一貫校でキャンパスが2つ日本語の先生も複数いる学校

【印象に残ったこと・感動したこと】

オーストラリアの人の生き方と日本人の生き方が違ったこと。オーストラリアの人は毎日あらゆるものごとに全力を出している。新しいことや自分の仕事、もちろん食べることも寝ることも(笑)それがとても印象的でした。

あと、途中で耳が英語慣れしてきたってはっきりわかった時はびっくりしました:-)1か月しかいなかったけど何回か英語が分かるようになったなと思うことがありました。

【大変だったこと】

最初は、何を手伝ってほしいのか聞き取れなかったこと。ボランティアをしたい気持ちがあるのに、言葉が分からないので手伝うことが出来なかった。

【楽しかったこと】

ホームステイ先のホストファミリーが毎日会話をしてくれたこと。What's surprise today?と毎日聞いてくれたので、とても楽しく会話することが出来た。あと、たくさん観光地にも連れて行ってもらえた。

【持ち物について】 持って行って良かった物、or 持っていけば良かった物など

とりあえず日本のものを持って行こうとして、折り紙やけんだまを百円均一で買ったけど向こうの学校にすでに

あったので、いらなかった。百円均一の物は失礼かも。ちらずしキットを持って行ってつくったら大好評だった。

お土産は、食品が一番いいと思う。

【現地での服装について】 普段の服装や、活動先での服装のアドバイスなど

春休みにいったので向こうは9月ぐらいの気温だった。オーストラリアの人はみんな半袖だったけど普通に寒かった。パーカーやTシャツは絶対いる。あとズボンもいる。わたしはずっとスキニーで活動していました。

【現地の物価】 食品・日用品・外食・交通費etc・旅行に行かれた方はその費用など

ご飯ものは量が多いため少し高いイメージ。自分でサンドイッチをつくるのが一番健康的で安上がり。ちなみに外食は高め。そのかわり量はめちゃくちゃ多い。

向こうで日本の物を買うのはやめといたほうがいいと思います。高いです。

【コミュニケーション手段(言葉の問題など)について】

辞書があればたいてい伝えたいことは伝えられる。分からなければ、オーストラリアの人もPardon?と使うので、こっちも聞き返して大丈夫だと思う。あいまいが一番だめ。高校生の時にちゃんと定期テストの勉強をしてきた人ならなんとなく文法とか覚えているので大丈夫だと思います。ただ、日常的な会話の本は一冊持って行った方がいい。

【ステイ先の情報・感想】 ホームステイ

めちゃくちゃ素敵だった。わたしのホストファミリーは日本に住んでいたことがあったので、日本語がとても上手でした。英語に不安のある方でも大丈夫だと思う。いろんな観光地に連れて行ってくれたし、いろんな食べ物を食べさせてくれたし、オーストラリアを満喫できた。こどもたちもホームステイになれていたから、私への対応がすごく上手だった(笑)

【派遣(ボランティア)先について】 どこでどんな活動をしましたか

私のホストファミリーが日本語教師をやっていたのでそのアシストをしていました。主に幼稚園～小学生5年

生までを対象に、発音(のり、はさみ、えんぴつ)や会話(おはよう、元気?など)のお手本を見せたり、日本の文化に触れる授業ではけんだまや折り紙のサポートをしました。だいたい毎日スケジュールはいっぱいでした。

仕事に慣れ始めると、クラスをまわって分からない子どもを助けてあげたり、コピーをとったりしました。あと、私が行ったときはちょうど体育祭の時期だったので、そのお手伝いもしました。

【やってみたかった事・やり残した事】

トライアスロン大会があったのですが、エントリー数が多すぎてチャレンジすることが出来なかったのが残念でした。あと、夜のクラブにいったかった。

日本語教師ボランティアではやりたいことは全部やらせてもらえました。

【その他、自由にご記入ください】 写真大歓迎！！

女性 (ご参加時年齢)20歳以下

ご協力ありがとうございます。今後のプログラムに役立てさせていただきます。





オーストラリア日本語ボランティア感想文 リコさん

ケアンズの小学校・中学校(日本語の授業がある学校)での活動

ボランティア活動に関して

Year4～7年生が日本語の勉強をしていて、月～金曜日の9時から15時まで授業がありました。先生が毎朝車で迎えに来て下さり、一緒に学校へ行きました。学校までは20分くらいです。

ランチは毎回メニューを見て自分で決めていました。いつも先生が払って下さったので、最終日にまとめて三週間分のお金を先生に渡しました。

授業は先生が常に教壇に立って行って、わたしは主に発音練習の時に生徒の前でお手本を見せました。あとは生徒がひらがなの練習や日本語の文章を書いているときに、正しく書けているのか確認し、間違っている生徒に教えました。

また、3、4のグループになって作業をすることがあり、その場合はグループに参加し、一緒に楽しみました。

授業の内容は

year4 the map of Japan, 私の名前は～です、

year5 私は～歳です、数字など

year6 ひらがなの練習

year7 vehicle で place に行きました、行きます、行きたいです、など

ex. 新幹線で広島に行きました、船で日本に行きたいです、など

ちょうどひな祭りの時期だったので折り紙でひな人形、コアラ、鶴をつくりました。

先生とのコミュニケーションはうまくとれていたと思います。質問には yes, no, で答えることが出来たけど、たまにどうやって英語で言うのかわからないことがありました。でも、sorry と言って辞書で調べてそれから言い直していたのでそんなに困ることはありませんでした。

先生の日本語はとても上手だと思います。授業は全部英語だったため文章で話すことは少なかったのですが、単語をたくさん知っています。発音はとても難しそうでした。

服装はカジュアルで先生方はワンピースやタンクトップが多かったです。暑かったのでTシャツに短パンで活動しました。生徒がこんにちは、と言って挨拶してくれたので接し方は何も気にしませんでした。ただ、とても早口で話しかけられたときは聞き取れなくて謝っていました。なのでリスニング、スピーキング力は日本で準備しておけばそれだけ楽しめると思いました。

2)生活面

家族構成はホストマザー、ファザー、大学生の三人でした。他に二匹の犬と一匹の猫がいました。部屋は広く、ベッド、テレビ、鏡、クローゼットがありました。パソコンは持っていかなかったのですが、使いたいときはいつでも言ってね、とおっしゃっていたのでメールを送りたいときは借りていました。食事はとってもおいしいです。朝はフルーツとシリアルで、昼はパンやサンドウィッチが多かったです。夜はほぼ毎日肉です。どれも本当においしかったです。外食にもたくさん連れて行って頂き、日本食も食べました。テレビやスポーツ、私の家族について、学校のことをよく話しました。変圧器は役に立ちました。電子辞書も持って行って良かったです。

観光はグレートバリアリーフ、キュランダ、動物園、プールに行きました。

費用は300から\$400くらいかかりました。

3)英語が出来れば出来るだけ充実した活動ができると思うので語学力をつけておくのは大切だと感じました。何にも不自由なことはなかったのですが、不安に思うことはありません。本当に充実していて、最高の思い出になりました。



参加期間 2月17日から3週間